

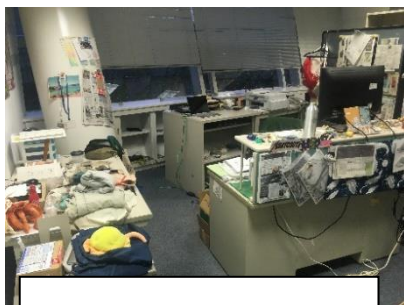
【古生物学】

◎主な配属先、業務内容

■出先機関

恐竜博物館

- 福井県内で発見される化石に関する調査・研究、県の恐竜発掘事業の遂行、博物館に係る各種展示会の監修を実施（個人で研究している対象についても業務として調査・研究）
- 博物館の研究職員は各々で研究の専門があり、恐竜類をはじめその足跡化石やカメ類、哺乳類、貝類、植物、地球化学（地層や岩石に含まれている微量な化学物質を分析する分野）を専門とする職員が所属



研究室(オフィスデスク)



採取した貝が散乱する実験室

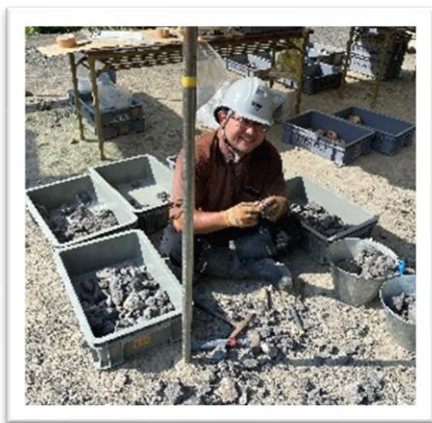


実験水槽の様子

福井県立大学 恐竜学研究所

- 研究員によっては、福井県立大学の恐竜学研究所を兼任し、学生指導等を実施

【古生物学】令和2年度採用



恐竜博物館

あさと かいと
安里 開士



(筑波大学大学院 博士後期課程 修了)

【主な担当業務】

- 事務分担業務
(館内の燻蒸と各博物館との連携協定事業)
- 研究業務
(福井県内で発見された化石に関する調査・研究業務)
- 博物館に関係する展示会の監修業務

◎ある一日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	14:30	16:00	17:15
業務開始、 メールチェック	展示会の監修業務 (パネル・キャプション原稿作成)	昼休み	徳島県立博物館との 連携にかかわるミー ティング	北谷恐竜発掘現場産 貝化石の研究(論文 執筆)	展示会の監修業務 (パネル・キャプション原稿作成)	業務終了

◎福井県職員を志望した理由

私は元々、**恐竜時代よりも古い時代の貝化石を専門に研究**を行っておりました。貝類は現在も生きている生物の一つですが、貝化石は現在のものとは異なる絶滅した貝類がほとんどです。そのため、私の専門よりも新しく、**現在生きている貝類との「架け橋」となる恐竜時代の貝化石には以前から興味**がありました。福井県は「恐竜王国」として有名である一方、恐竜時代のその他の化石、特に貝などの化石の研究はほとんど進んでおりません。そんな中、福井県立恐竜博物館で研究職員の公募が目にとまりました。福井県職員に限ることはありませんが、古生物学関係の研究職は、公募自体非常に限られています。そういう意味で、私は縁あって福井県職員になったのかなと感じております。

◎仕事をはじめて感じていること

これまで自身の興味の赴くままに調査を行い、化石を採取し、研究をしてきましたが、**自身の研究が博物館の展示やプレスリリースなど、多くの人に知ってもらえる機会が明らかに増えた**と感じています。そのため、今まで以上に、**自身の研究の面白さや学術的価値、展示の仕方など多角的に俯瞰することの必要性を自覚**しています。**大好きな貝化石を研究し、生計を立てていく日々の喜び**をかみしめております。

◎魅力・やりがい

何といても北谷恐竜化石発掘現場での共同研究です。**北谷恐竜発掘現場は、恐竜だけでなく多種多様な生物化石**を多く含んでいます。これら化石の持つ情報は、恐竜時代の世界を知る上でとても重要になります。恐竜博物館には、恐竜や貝類の専門家だけでなく、恐竜を含む地層から多く見つかるカメ類や植物、哺乳類、更には地球化学など多くの専門性を持った研究員が所属しています。このように**多様な古生物の専門家**が在籍する博物館は日本だけでなく、世界的にも数少ない存在です。そのような中で**発掘現場という一つの地層から産する化石を集中的に調査・研究**することは、福井でなければできないことです。

◎採用試験対策

研究員の採用試験では、いわゆる筆記試験というもの一般的にないことがほとんどで、多くは書類審査と面接で合否が決まりますが、福井県立恐竜博物館での公募もまさにそうでした。このような場合、**大学院時代とそれ以降にどれだけ質の良い論文や研究を行ってきたかが重要**になります。また、**面接の際、自身の研究について簡潔に説明しなければならぬため、コミュニケーション能力も必要**になります。研究をしっかりと行うだけでなく、その成果をきちんと論文にまとめること、分かりやすく説明できるように学会などの専門家が集まる場所での発表だけでなく、**様々な人に対して自身の研究を紹介する場を経験していくことが大切**だと思います。

◎後輩たちへ一言

私の職業柄、他の福井県職員の方々と比べると少々特殊な視点になるかもしれませんが、**福井県には恐竜をはじめとして多様な時代の地層が分布**しています。そこには、まだ見ぬ新種の化石も多く含まれていることでしょう。**このような地域は、日本でも数少ない**です。化石が見つかったとしても、それをきちんと研究できる環境がないと、その価値は分からないままです。福井には、その両方があります。研究職の就職は、中々思うようにいかないことも多いかもしれませんが、諦めずに続けていれば、**自ずと道は開かれる**と思います。**今後、何かしらの形で皆様と一緒に研究ができる日を楽しみにしております!**